

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	臨床検査医学 (Laboratory Medicine)		
ナンバリングコード	S20309	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 臨床検査学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S006951	クラス名	-
担当教員名	長濱 純二、松井 智浩、佐野 成雄、政元 いずみ		
履修上の注意、 履修条件	受講前後に講義内容についての予習・復習を必ず行うこと。 遅刻や私語など、講義の妨げとなる行為をした学生には退室を命じるとともに、その日の出席を無効とする場合があります。 臨床検査学コースの学生は必ず履修すること。		
教科書	最新臨床検査学講座 病態学 臨床検査医学総論 奈良 信雄 医歯薬出版		
参考文献及び指定図書	標準臨床検査医学 (猪狩淳、中原一彦 編、医学書院)、イヤーノート (内科外科編、メディックメディア)、臨床検査技師国家試験既出問題集 (各出版社販売)		
関連科目			

○基本情報		
授業の目的	臨床検査と疾患の相互関係や臨床検査による診断の基礎を理解し、各検査における検査法の原則や適用範囲、結果の解釈方法、臨床的意義について総合的に学修する。また、臨床検査材料や検査データ管理の重要性、院内感染防御や医療過誤の発生予防対策等のリスク・マネージメントについても理解する。	
授業の概要	循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、肝・胆・膵系疾患、感染症、内分泌系疾患、アレルギー性疾患、泌尿器系疾患、悪性新生物、精神・神経系疾患、運動機能系疾患等と臨床検査情報との関係および検査による診断の基礎について理解する。各検査における臨床的意義について学ぶが、疾患の症状は全身に及ぶため系統的に関連する全ての臓器について関連性を持たせて総合的に理解する。また、臨床検査材料や検査データ管理の重要性と院内感染防御や医療過誤の発生予防対策等のリスク・マネージメントについても理解する。 (オムニバス方式／全15回) (長濱純二／6回) 臨床検査の意義、消化器系疾患、神経系疾患 (松井智浩／3回)	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目		
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準 (合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	70点	30点	
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				
○成績評価の補足 (具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
期末試験 (70 %) と提出物 (30 %) で評価を行います。 期末試験を受けるためには3分の2以上の出席が必要です。 課題等のフィードバックは、次回以降の授業内等で適宜行います。 ＜提出物の評価のポイント＞ 提出されたレポートがレポートの文章や図などが適切で、内容が正確であるかどうか。				

○その他
講義はup-to-dateなものとするため、講義日程を変更する場合があります。 進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をする場合があります。 講義内容についての質問・要望等は、講義前後に教室で受け付けます。 学習相談は、授業終了後もしくはオフィスアワーの時間に担当教員の研究室に来てください。 検査で異常値が認められた際は、どのような機序でそのようなことを結果として現れるかを解剖生理や病理学を結びつけて理解すること。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名	臨床検査医学(Laboratory Medicine)	授業コード	S006951
		担当教員	長濱 純二、松井 智浩、佐野 成雄、政元 いずみ		
学修内容					
1. 臨床検査の意義及び検査の理解					
臨床検査の意義及び検査の理解について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を箇条書きでノートに書き出す。	約2時間			
復習	授業中に説明されたことを自分で予習したことに加筆してまとめる。	約2時間			
2. 循環器系疾患の検査と心疾患1					
循環器系疾患の検査と心疾患(1)先天性疾患と検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を箇条書きでノートに書き出す。	約2時間			
復習	解剖学・生理学及び病理学の内容を鑑み、図や表を用いてノートにまとめる。	約2時間			
3. 循環器系疾患の検査と心疾患2					
循環器系疾患の検査と心疾患(2)頻度が多く見られる心疾患と検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を箇条書きでノートに書き出す。	約2時間			
復習	解剖学・生理学及び病理学の内容を鑑み、図や表を用いてノートにまとめる。	約2時間			
4. 呼吸器系疾患の検査と呼吸器疾患1					
呼吸器系疾患の検査と呼吸器疾患(1)生理機能検査を中心として学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を箇条書きでノートに書き出す。	約2時間			
復習	解剖学・生理学及び病理学の内容を鑑み、図や表を用いてノートにまとめる。	約2時間			
5. 呼吸器系疾患の検査と呼吸器疾患2					
呼吸器系疾患の検査と呼吸器疾患(2)血液・細菌検査・免疫検査を中心として学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を箇条書きでノートに書き出す。	約2時間			
復習	教科書、配布資料、参考図書などを利用し、学修した内容を整理する。	約2時間			
6. 内分泌疾患と臨床検査1					
内分泌疾患と臨床検査(1)下垂体系疾患と検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を箇条書きでノートに書き出す。	約2時間			
復習	教科書、配布資料、参考図書などを利用し、学修した内容を整理する。	約2時間			
7. 内分泌疾患と臨床検査2					
内分泌疾患と臨床検査(2)甲状腺系疾患と検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を箇条書きでノートに書き出す。	約2時間			
復習	教科書、配布資料、参考図書などを利用し、学修した内容を整理する。	約2時間			
8. 内分泌疾患と臨床検査3					
内分泌疾患と臨床検査(3)副腎、性腺疾患と検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を箇条書きでノートに書き出す。	約2時間			
復習	教科書、配布資料、参考図書などを利用し、学修した内容を整理する。	約2時間			

○授業計画		科目名	臨床検査医学(Laboratory Medicine)	授業コード	S006951
		担当教員	長 濱 純二、松井 智浩、佐野 成雄、政元 いずみ		
学修内容					
9. 消化器系疾患と臨床検査1					
消化器系疾患と臨床検査(1)食道・胃・小腸・大腸疾患と検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を簡条書きでノートに書き出す。				約2時間
復習	解剖学・生理学及び病理学の内容を鑑み、図や表を用いてノートにまとめる。				約2時間
10. 消化器系疾患と臨床検査2					
消化器系疾患と臨床検査(2)肝臓の疾患と検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を簡条書きでノートに書き出す。				約2時間
復習	解剖学・生理学及び病理学の内容を鑑み、図や表を用いてノートにまとめる。				約2時間
11. 消化器系疾患と臨床検査3					
消化器系疾患と臨床検査(3)胆嚢・膵臓疾患と検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を簡条書きでノートに書き出す。				約2時間
復習	解剖学・生理学及び病理学の内容を鑑み、図や表を用いてノートにまとめる。				約2時間
12. 造血系疾患と臨床検査					
造血系疾患と臨床検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を簡条書きでノートに書き出す。				約2時間
復習	解剖学・生理学及び病理学の内容を鑑み、図や表を用いてノートにまとめる。				約2時間
13. 免疫系疾患と臨床検査					
免疫系疾患と臨床検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を簡条書きでノートに書き出す。				約2時間
復習	解剖学・生理学及び病理学の内容を鑑み、図や表を用いてノートにまとめる。				約2時間
14. 神経系疾患と臨床検査					
神経系疾患と臨床検査について学ぶ。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を簡条書きでノートに書き出す。				約2時間
復習	解剖学・生理学及び病理学の内容を鑑み、図や表を用いてノートにまとめる。				約2時間
15. まとめ					
第1回～第14回の講義の総括をするとともに臨床検査意義及び解釈等について確認する。					
予習	講義で行われる項目の内容について教科書を読み、重要となる箇所を簡条書きでノートに書き出す。				約2時間
復習	復習でまとめたものに重要点を確認し、また、まとめとして足りなかった内容を加筆する。				約2時間
16. 期末試験					
予習					
復習					